

男女共同参画推進連携会議「女性の起業支援」チーム第1回会合議事概要

1. 日時 : 平成28年1月21日(木) 15:00~17:00
2. 場所 : 中央合同庁舎8号館8階特別中会議室
3. 議題 :
 1. 開会
 2. コーディネーターの互選
 3. 議員自己紹介
 4. 今後のチーム活動内容について
 5. 平成28年度女性の起業支援等関係事業について
 - ・経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室長 藤澤 秀昭氏
 6. 女性起業家及び起業支援に関する取組事例について
 - ・株式会社エニタイムズ 代表取締役社長兼CEO 角田 千佳氏
 - ・東京急行電鉄株式会社 生活創造本部 リテール事業部 東急ベル推進部 事業企画課 課長 宮本 有紀彦氏
 7. APEC女性と経済フォーラム2015の報告について
 8. 閉会

4. 出席者 :

(有識者議員)

飯田議員、上林議員、山屋議員、横田議員

(団体推薦議員)

高橋議員、糸数議員、山崎議員、谷本議員、下村議員、名取議員

(外部有識者)

- ・株式会社エニタイムズ 代表取締役社長兼CEO 角田 千佳氏
- ・東京急行電鉄株式会社生活創造本部リテール事業部東急ベル推進部事業企画課課長 宮本 有紀彦氏
- ・東京急行電鉄株式会社生活創造本部リテール事業部東急ベル推進部事業企画課 課長補佐 青戸 里子氏

(オブザーバ)

株式会社日本政策投資銀行 女性起業サポートセンター長 原田 文代氏

(関係府省)

経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室長 藤澤 秀昭氏

(事務局)

武川 内閣府男女共同参画局長、華房 内閣府大臣官房審議官(男女共同参画局担当)、岡田 内閣府男女共同参画局総務課長、石橋 内閣府男女共同参画局男女共同参画推進官、酒井 内閣府男女共同参画局政策企画調査官

5. 議事概要

○冒頭、内閣府武川局長及び岡田総務課長より挨拶があった。

○議題 2 について、チームコーディネーターの互選が行われ、横田響子議員がコーディネーターに選出された。続いて、横田コーディネーターより、飯田隆議員が副コーディネーターに指名され、両名から挨拶があった。

○議題 3 について、各議員より今後の抱負や各所属団体の取組等を含め自己紹介があった。

○議題 4 について、資料 2、参考資料 1 及び 2 に基づき事務局より説明が行われ、今後概ね 2 年間のチームにおける活動内容について、特段の意見なく案のとおり決定された。

○議題 5 について、経済産業省藤澤氏より、資料 3 に基づき、同省の女性活躍推進に向けた起業支援の取組について発表があった。

○議題 6 について、資料 4 等に基づき、エニタイムズ角田氏と東急電鉄宮本氏より、両社の概要及び昨年度の内閣府マッチングイベントを契機としてスタートした両社の協働サービスについて発表があった。

○議題 7 について、参考資料 6 に基づき、事務局より平成 27 年 9 月にフィリピンで開催された APEC 女性と経済フォーラムの概要について報告を行った。

○発表等を踏まえ、質疑応答・意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

・エニタイムズのようなマッチングサービスでは、ニーズがあっても供給者をどのように確保するかが重要と思われるが、どのように確保しているのか。またヘビーユーザーになるほど、エニタイムズを通さず当事者同士で直接やりとりするような事例もあるように思われるが、実際はどうか。

→エニタイムズの仕組みはプロフェッショナルなサービスの提供というより、「地域に貢献したい」や「能力を活かしたい」といった「仕事提供者」のちょっとした希望と「仕事依頼者」のサービスニーズを結びつけるもの。「仕事提供者」には専業主婦も多く登録しており、生活のための労働欲求というよりは、「自己承認欲求」からエニタイムズに登録していることが多く、今のところ両者のバランスはとれている。また、利用者はエニタイムズへマッチングの手数料をお支払いただくことになるが、そのぶんサポーターズ制度や保険等を整備しており、エニタイムズの役割が全く不要となることは無いだろうと考えている。

→一方、一般的な家事代行サービスでは、担い手（供給量）が不足している現状もある。

・女性起業家が直面する課題としては、「信用の不足」が挙げられる。金融機関に飛び込んでもなかなか融資を受けるのが難しいこともあるので、政府等による信用保証がさらに充実すると良いと思う。

・シンガポールや香港等ではハウスキーパーの文化が浸透しており、家事・育児等との両立に効果があるとも聞いている。日本でも今後外国人人材の活用が求められる中で、女性起業家に対する支援策として検討してみても良いのでは。

・エニタイムズは仕組みとしては派遣なのか。派遣される人の信用はどう担保しているのか？

→派遣ではなく当事者間の直接の業務委託契約となる。全国に 2 万人ほど会員がいるが、最初に一人一人プロフィールを作成してもらう。また、仕事が完了した際に、両者に仕事の感想等をコメントしてもらい、会員の信用度が上がるような仕組みを作っている。

・日頃のちょっとしたニーズやサービスの隙間を埋めるという点で非常に有意義なサービスだと思う。このようなきめ細かく生活に根ざした視点は女性ならではのと思う。また、日々の生活に不便を感じている高齢者が多い被災地等でも活用できるサービスではないかと思う。(ただし高齢者はITスキルが高くないという課題はある) 今後の発展に期待したい。

・生活者視点に立つとまだまだ女性が起業できる可能性があるということを改めて感じた。例えばニッチな産業であったり、大企業の手が届かない部分等、新しい視点で切り開いていくことができる。そのような人達へのサポート・アドバイスが必要ではないかと思う。

・起業する際の信用力の問題で、比較的小規模の事業で満足している場合はそこまで大きな問題ではないのかもしれないが、規模が大きくなってくると小口無担保・無保証創業融資の限度額引き上げや信用保証等の支援が充実すると有効ではないかと思う。

→経済産業省が来年度からの実施を予定している「女性起業家等支援ネットワーク事業」は、まさにそのような視点にも対応しようとするもの。いきなり金融機関に相談をしに行くことにハードルが高いと感じる女性起業家に対して、ネットワークを活かして先輩起業家や支援機関等にアドバイスを提供してもらうことで、信用力の補完にもつなげていければと考えている。

・最近では、大学生に対し「課題解決型学習」として実践的な教育を行っているが、進路として企業への就職だけでなく、起業という選択肢もあるということを伝えていければ良いと思う。

・今年も開催されるマッチングイベントは素晴らしいと思う。このような出会いの場がより増えると良い。

・日本政策投資銀行等で実施しているビジネスコンペでは中規模以上の起業家を主な対象としているが、小規模から中規模に成長しようとしている起業家をいかに支援していくかが課題だと思う。

・弁護士も創業支援に協力できることは多いと考えている。日弁連で新しく立ち上げた創業支援プロジェクトチームの座長は女性であるし、引き続き議論していきたい。

○最後に事務局より今後のスケジュールについて、第2回を新年度に開催すること、また議題としては2月に開催されるマッチングイベントの開催報告や外部有識者のヒアリング等を行う予定である旨の連絡があった。

以 上